

経営比較分析表（令和2年度決算）

埼玉県春日部市 春日部市立医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	未訓ガ	救臨が感輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
233,391	33,600	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

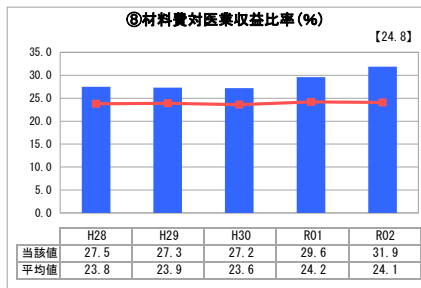
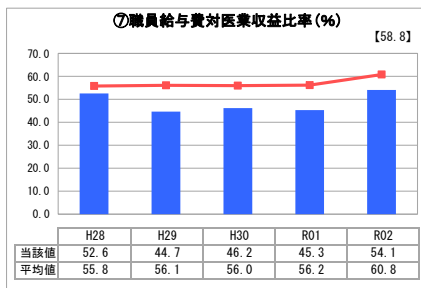
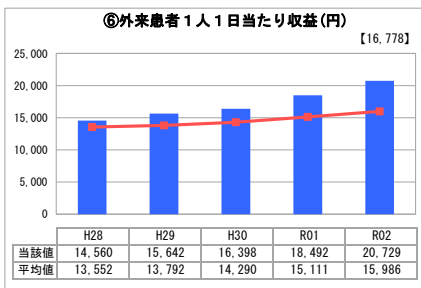
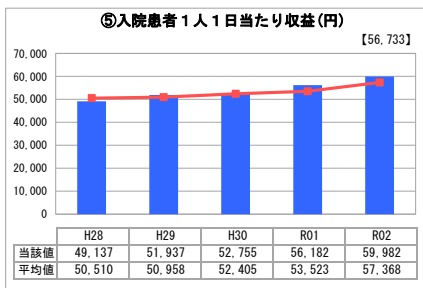
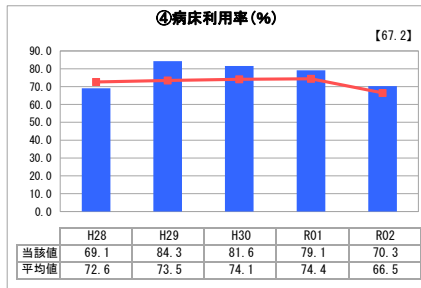
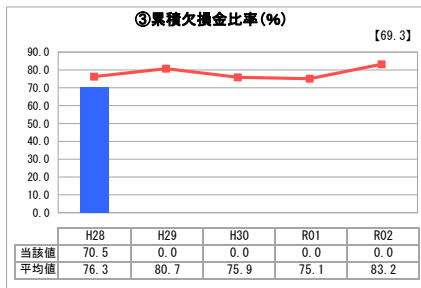
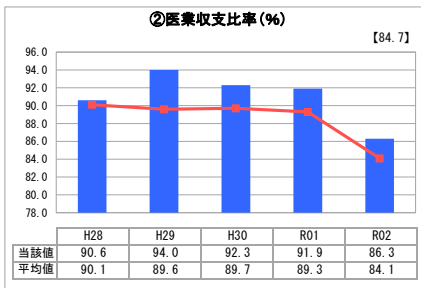
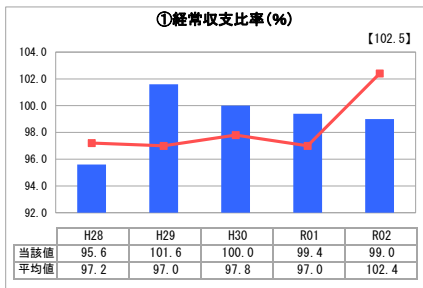
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
361	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	2	363
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
347	-	347

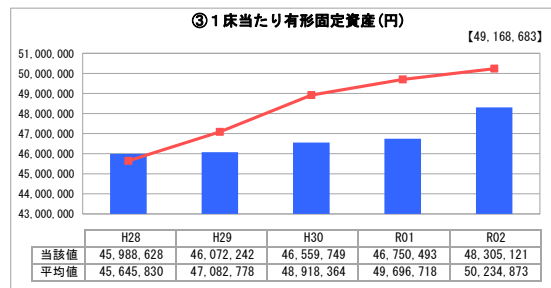
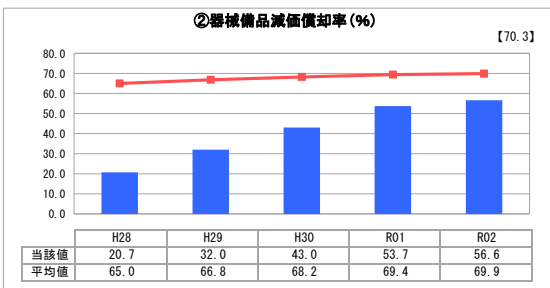
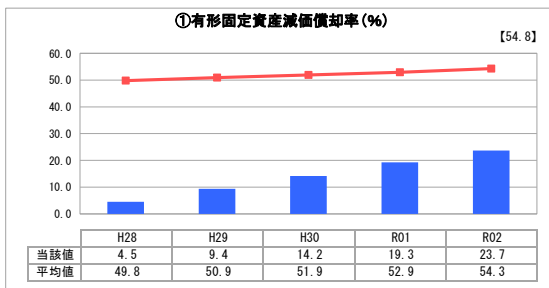
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

医療連携体制を支える地域の基幹病院として、地域で不足する専門的な医療を実施している。また、地域がん診療連携拠点病院として、先進的な設備や医療機器を導入し患者受け入れ態勢の強化を図るとともに、小児、周産期、救急、災害時医療などにおける地域拠点病院としての役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、経常収益は国・県補助金が大幅な増となった一方、入院・外来収益とも減となったため全体では微増となり、経常費用は会計年度任用職員制度の導入に伴う職員給与の増および高額な抗がん剤の治療件数の増による材料費の増などにより増加傾向となった結果、若干の下落となった。② 医業収支比率は、医業収益は入院・外来収益とも診療単価が増となったものの延べ患者数の減により大幅な減となり、医業費用では職員給与、材料費が増となった影響で下落したが類似病院平均値を上回った。③ 病床利用率は、新型コロナウイルス感染症患者受け入れに伴う通常患者への影響により下落したものの、類似病院平均値を上回った。④ 入院患者1人1日当たり収益は、入院患者数は減少したものの、高額な抗がん剤治療件数の増により増額となった。⑤ 外来患者1人1日当たり収益は、高額な薬品を使用する抗がん剤治療の影響で増加傾向である。⑥ 材料費対医業収益比率は、高額な抗がん剤の使用の増により高く推移している。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率、② 器械備品減価償却率は、新病院建物等の減価償却が始まったことで若干上昇したものの、当面は老朽化の問題はない。今後は施設等の経年劣化、医療器械の計画的な更新に備えていく。③ 1床当たり有形固定資産は、新病院建物、構築物および新規導入した医療器械等の計上に伴い、高く推移している。また、令和2年度は磁気共鳴画像診断装置などの高額医療器械、新型コロナへの対応に必要な医療器械を購入したことにより増となった。

全体総括

当センターの経営状況については、入院・外来収益とも延べ患者数の減により、前年度を下回った。今後も引き続き材料費や経費の削減を図りながら、中期実施計画に基づき病診連携・病病連携を進め、手術件数、紹介率および逆紹介率の向上を図るとともに、救急医療体制の強化と新規入院患者を確保し取り組みを実施し、入院・外来収益を確保することにより安定した持続可能な経営基盤を確立していく。